



平成28年度中間期会社説明会

～参考資料～



【ほくほくFGのプロフィール】

・ほくほくFGおよび子銀行の概要①	1
・ほくほくFGおよび子銀行の概要②	2
・ほくほくFGおよび子銀行の概要③	3
・ほくほくFG株価の推移	4

【経営指標等】

・主要経営指標の推移(ほくほくFG)	5
・主要経営指標の推移(北陸銀行)	6
・主要経営指標の推移(北海道銀行)	7
・地域シェア～貸出金(16年3月末)	8
・地域シェア～預金(16年3月末)	9
・地域向け貸出金(北陸銀行)	10
・地域向け貸出金(北海道銀行)	11
・地域の業種別貸出金(16年9月末)	12
・地域の預金(譲渡性預金含む)(両行)	13
・金融再生法開示債権(2行合算)	14

・金融再生法開示債権(北陸銀行)	15
・金融再生法開示債権(北海道銀行)	16
・保全状況の推移	17
・リスク量の状況(2行合算)	18

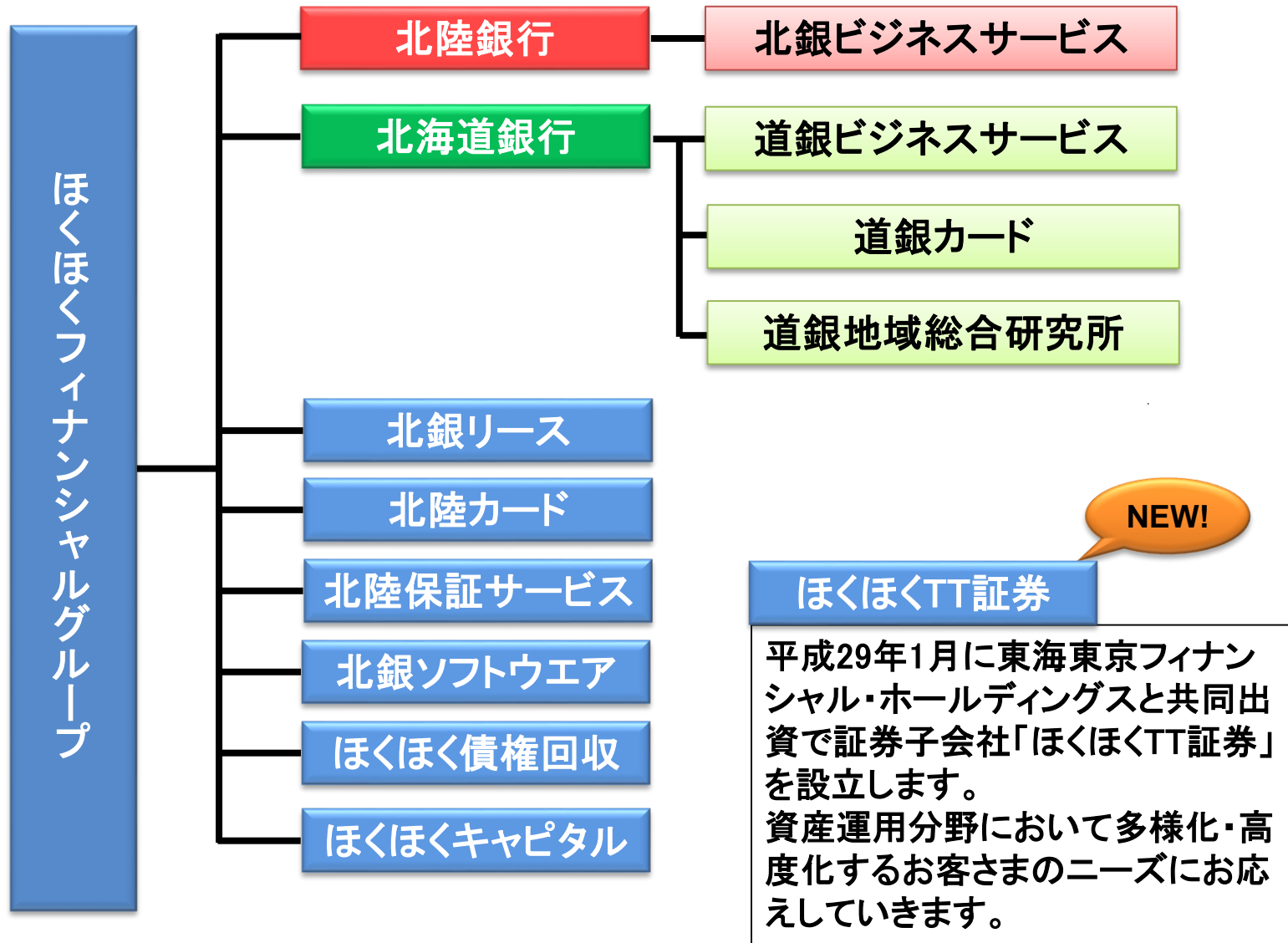
【地域経済の現状】

・経済状況	19
・業況判断D.I.推移	20
・地価動向	21
・設備投資の状況	22
・住宅投資の状況	23
・企業倒産の状況	24
・その他経済指標	25
・プライムエリア(北陸・北海道)の特徴①	26
・プライムエリア(北陸・北海道)の特徴②	27
・プライムエリア(北陸・北海道)の特徴③	28
・プライムエリア(北陸・北海道)の特徴④	29



(2016年9月末現在)	株式会社 ほくほく フィナンシャルグループ	株式会社 北陸銀行	株式会社 北海道銀行
設立	2003年9月26日	1943年7月31日 (創業1877年)	1951年3月5日
本店所在地	富山県富山市	富山県富山市	札幌市中央区
資本金	708億9,500万円	1,404億952万円	935億2,401万円
発行済株式数 (平成28年10月1日現在)	<普通株式> 132,163,014株※ <第1回第5種優先株式> 107,432,000株	<普通株式> 1,047,542,335株	<普通株式> 486,634,512株 <第1回第2種優先株式> 107,432,000株
総資産	(連結) 11兆9,423億円	7兆267億円	4兆8,762億円
預金 (含む譲渡性預金)	(連結) 10兆5,030億円	6兆1,066億円	4兆4,200億円
貸出金	(連結) 7兆6,797億円	4兆4,460億円	3兆2,543億円
自己資本比率	(連結) 10.28 %	(単体) 9.48%	(単体) 10.05%
従業員数	20名(専任者)	2,877名	2,365名
格付	A(R&I)	A(R&I)、A-(S&P)	A(R&I)、A(JCR)

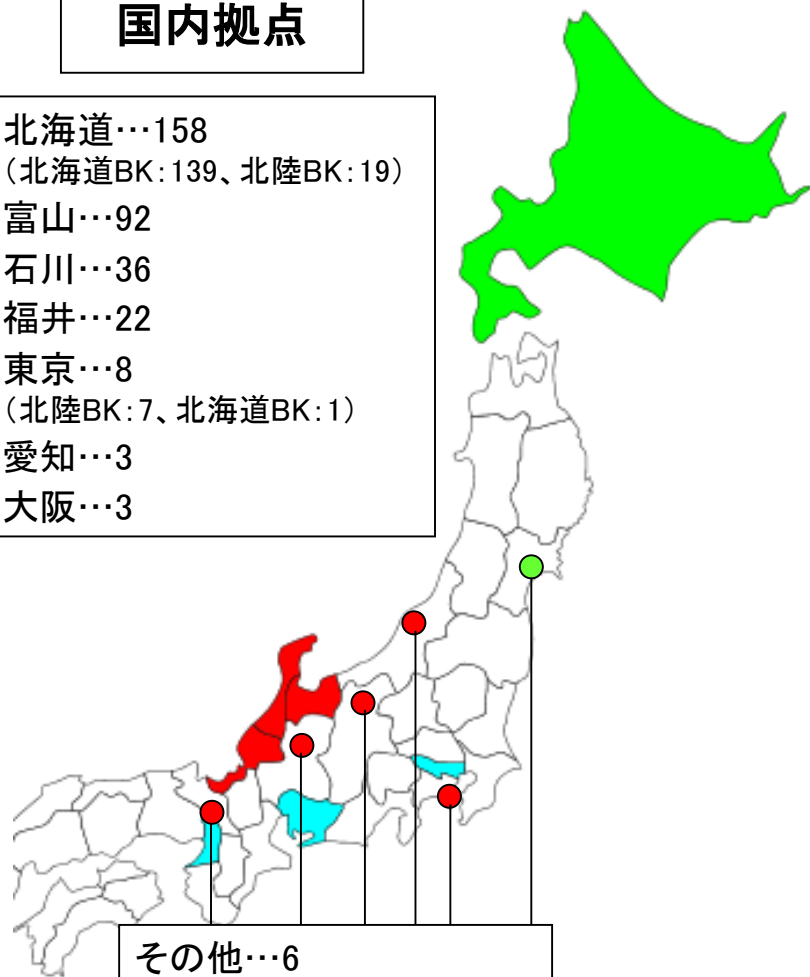
※平成28年10月1日付で10株を1株とする株式併合を行っております。





国内拠点

北海道…158
(北海道BK:139、北陸BK:19)
富山…92
石川…36
福井…22
東京…8
(北陸BK:7、北海道BK:1)
愛知…3
大阪…3



その他…6
(仙台、横浜、新潟、長野、高山、京都)

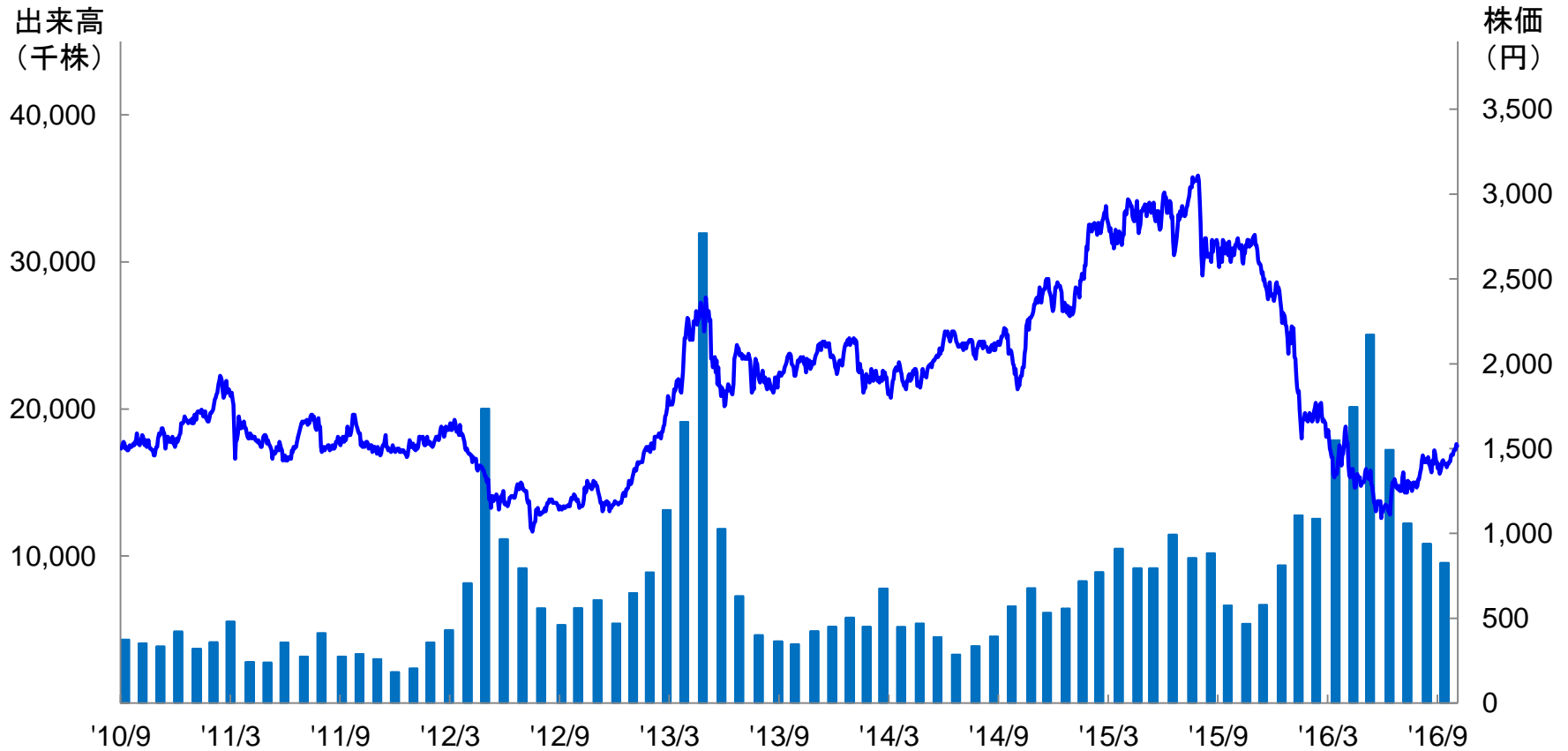
海外拠点



<駐在員事務所>

- | | |
|----------|-------------|
| ① ニューヨーク | ⑥ 大連 |
| ② ロンドン | ⑦ 瀋陽 |
| ③ バンコク | ⑧ ウラジオストク |
| ④ シンガポール | ⑨ ユジノサハリンスク |
| ⑤ 上海 | |

ほくほくFG株価の推移



	10.3.31	11.3.31	12.3.30	13.3.29	14.3.31	15.3.31	15.9.30	16.3.31	16.9.30
当社株価	2,050	1,620	1,580	1,900	1,980	2,680	2,730	1,480	1,351
日経平均	11,089.94	9,755.10	10,083.56	12,397.91	14,827.83	19,206.99	17,388.15	16,758.67	16,449.84
TOPIX	978.81	869.38	854.35	1,034.71	1,202.89	1,543.11	1,411.16	1,347.20	1,322.78

平成28年10月1日付で、普通株式10株を1株とする併合を行っております。過去の株価については、調整を行っております。

経営指標等 主要経営指標の推移 (ほくほくFG)

(単位: 億円)

(ほくほくFG連結)	13/3期 通期	13/9期 半期	14/3期 通期	14/9期 半期	15/3期 通期	15/9期 半期	16/3期 通期	16/9期 半期
経常収益	1,991	952	1,909	964	1,939	991	1,925	939
経常利益	293	235	494	218	481	261	464	237
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	181	123	273	138	282	166	288	167
自己資本比率	11.88%	12.04%	12.31%	11.38%	11.13%	10.89%	10.30%	10.28%

(2行合算)

コア業務粗利益	1,455	715	1,422	720	1,448	729	1,430	694
経費	951	478	940	477	936	453	909	445
コア業務純益	503	237	482	243	512	275	520	248
有価証券等関係損益	4	10	22	32	69	18	2	▲ 12
与信費用	170	0	▲ 13	30	60	16	37	▲ 11
経常利益	300	233	485	223	471	268	467	237
当期(中間)純利益	195	126	275	148	282	178	299	172
ROA(コア業務純益ベース)	0.47%	0.43%	0.44%	0.43%	0.45%	0.48%	0.45%	0.42%
OHR(コア業務粗利益ベース)	65.37%	66.87%	66.08%	66.17%	64.64%	62.18%	63.57%	64.21%
貸出金(末残)	74,020	73,696	73,363	74,801	75,617	75,192	75,996	77,004
預金(末残)含む譲渡性預金	100,081	100,894	101,720	104,890	106,513	106,357	105,026	105,266
有価証券(末残)	24,978	25,404	24,814	24,338	24,814	24,231	23,958	24,522
金融再生法開示債権	2,367	2,161	2,013	1,969	1,892	1,763	1,686	1,606
開示債権比率	3.11%	2.85%	2.67%	2.56%	2.43%	2.28%	2.15%	2.02%

主要経営指標の推移 (北陸銀行)

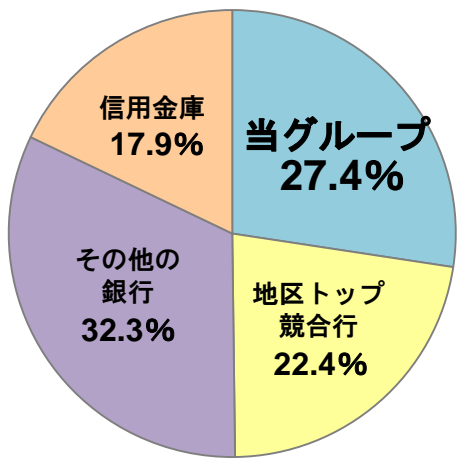
(単位: 億円)

	13/3期 通期	13/9期 半期	14/3期 通期	14/9期 半期	15/3期 通期	15/9期 半期	16/3期 通期	16/9期 半期
経常収益	1,030	485	977	480	940	463	933	458
コア業務粗利益	823	389	770	381	765	378	753	368
経費	509	258	505	259	504	243	486	238
コア業務純益	314	130	264	122	260	134	266	129
有価証券等関係損益	▲ 12	6	16	27	36	10	4	6
与信費用	93	▲ 9	▲ 42	8	17	8	▲ 11	▲ 10
経常利益	183	139	304	125	245	129	267	145
当期(中間)純利益	123	72	178	78	146	82	165	107
自己資本比率	11.78%	11.95%	12.40%	10.98%	10.61%	10.31%	9.78%	9.48%
ROA(コア業務純益ベース)	0.52%	0.42%	0.42%	0.38%	0.40%	0.40%	0.40%	0.37%
OHR(コア業務粗利益ベース)	61.84%	66.39%	65.65%	67.98%	65.94%	64.31%	64.57%	64.77%
貸出金(末残)	43,327	42,712	42,276	42,927	43,653	43,329	43,834	44,460
預金(末残)含む譲渡性預金	57,262	57,968	59,090	59,059	60,760	60,067	61,176	61,066
有価証券(末残)	12,696	12,961	12,383	12,191	12,754	12,721	13,439	13,842
金融再生法開示債権	1,484	1,342	1,203	1,141	1,097	1,029	977	913
開示債権比率	3.34%	3.06%	2.78%	2.60%	2.46%	2.33%	2.18%	2.01%

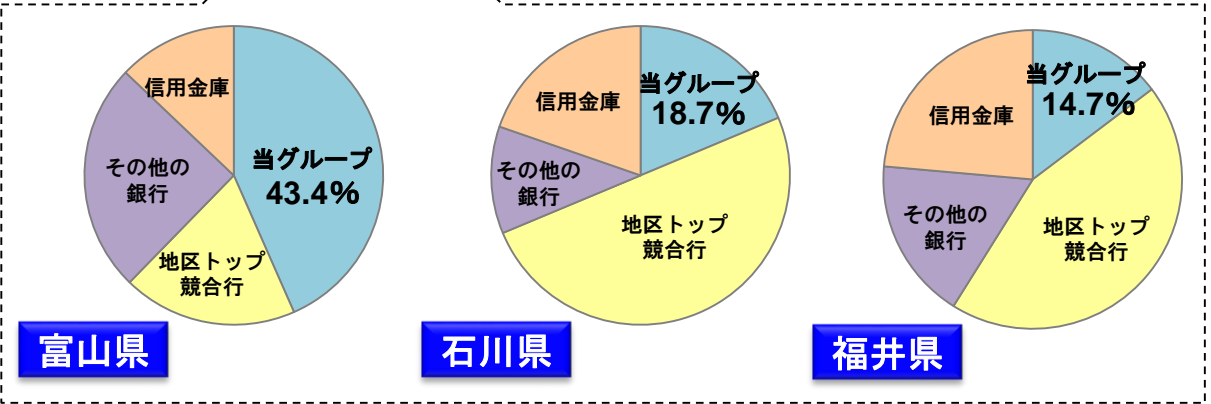
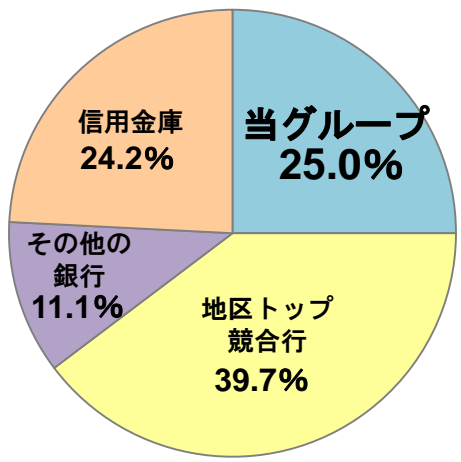
(単位: 億円)

	13/3期 通期	13/9期 半期	14/3期 通期	14/9期 半期	15/3期 通期	15/9期 半期	16/3期 通期	16/9期 半期
経常収益	816	402	802	416	854	454	855	405
コア業務粗利益	631	326	652	339	683	350	676	325
経費	442	219	434	217	431	210	422	207
コア業務純益	189	106	217	121	251	140	253	118
有価証券等関係損益	17	3	6	5	32	8	▲ 1	▲ 18
与信費用	76	9	28	21	42	7	48	▲ 0
経常利益	116	94	180	98	226	139	200	92
当期(中間)純利益	72	54	96	70	135	96	134	65
自己資本比率	11.23%	11.08%	10.76%	10.79%	10.75%	10.45%	10.23%	10.05%
ROA(コア業務純益ベース)	0.41%	0.45%	0.47%	0.51%	0.53%	0.58%	0.52%	0.49%
OHR(コア業務粗利益ベース)	69.98%	67.44%	66.60%	64.14%	63.18%	59.88%	62.47%	63.57%
貸出金(末残)	30,693	30,984	31,086	31,874	31,964	31,863	32,161	32,543
預金(末残)含む譲渡性預金	42,819	42,926	42,629	45,830	45,753	46,289	43,849	44,200
有価証券(末残)	12,282	12,443	12,431	12,146	12,059	11,509	10,519	10,680
金融再生法開示債権	882	819	810	828	796	733	709	693
開示債権比率	2.79%	2.56%	2.52%	2.50%	2.40%	2.21%	2.11%	2.03%

北陸三県

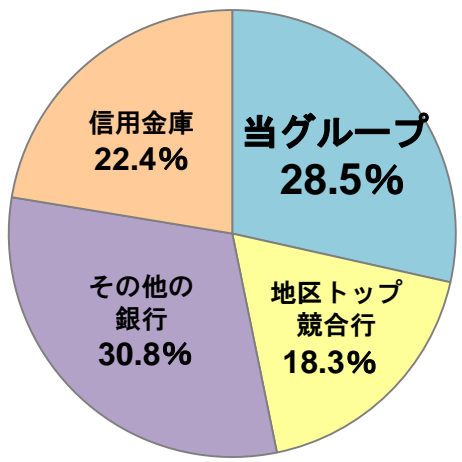


北海道

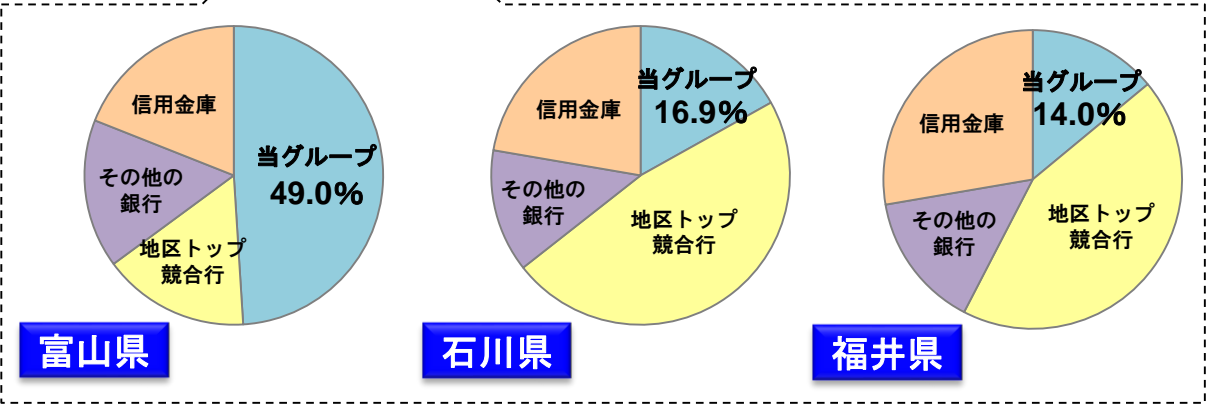
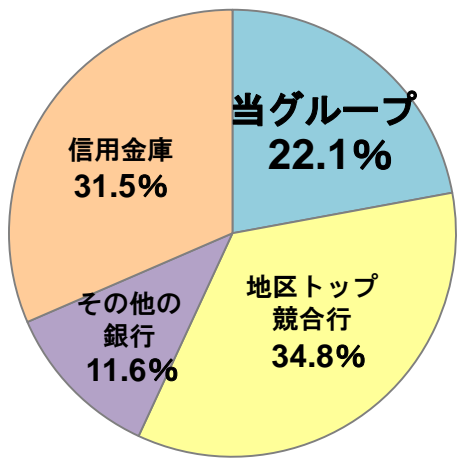


※「地区トップ競合行」、「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

北陸三県

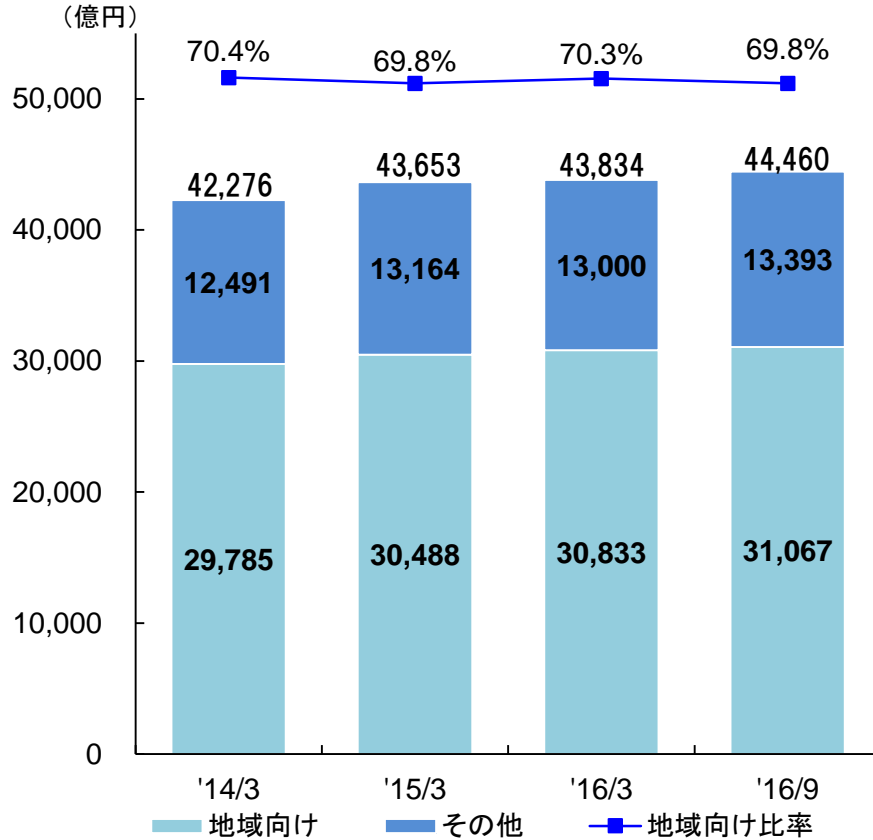


北海道

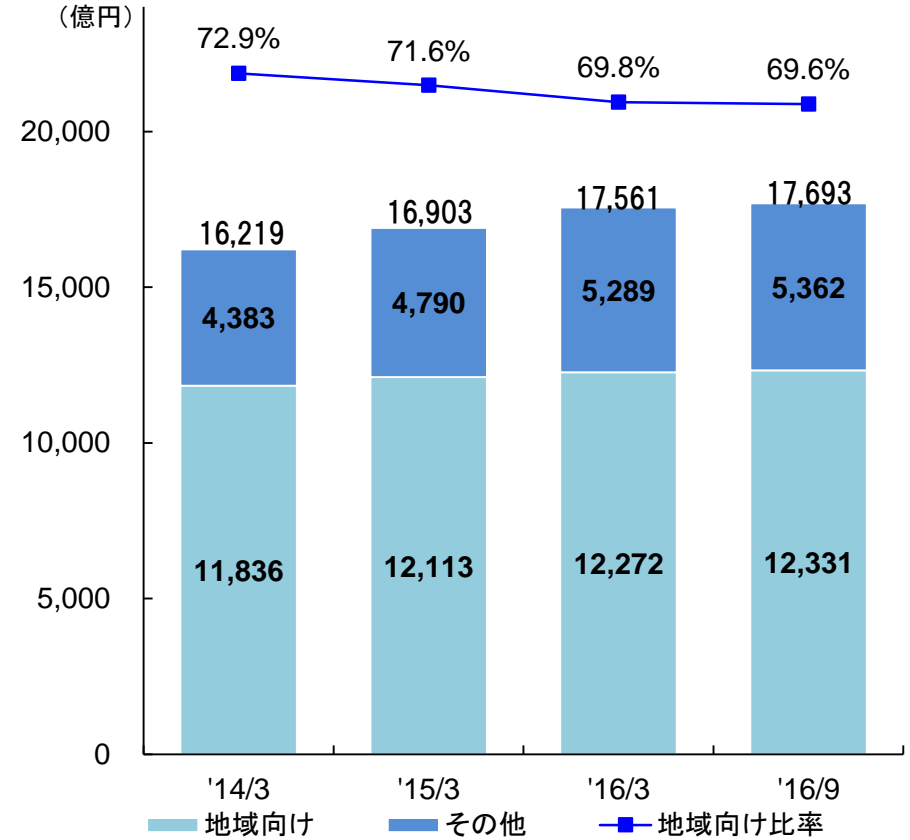


※「地区トップ競合行」、「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

地域向けの貸出金の推移



中小企業向け貸出金の推移



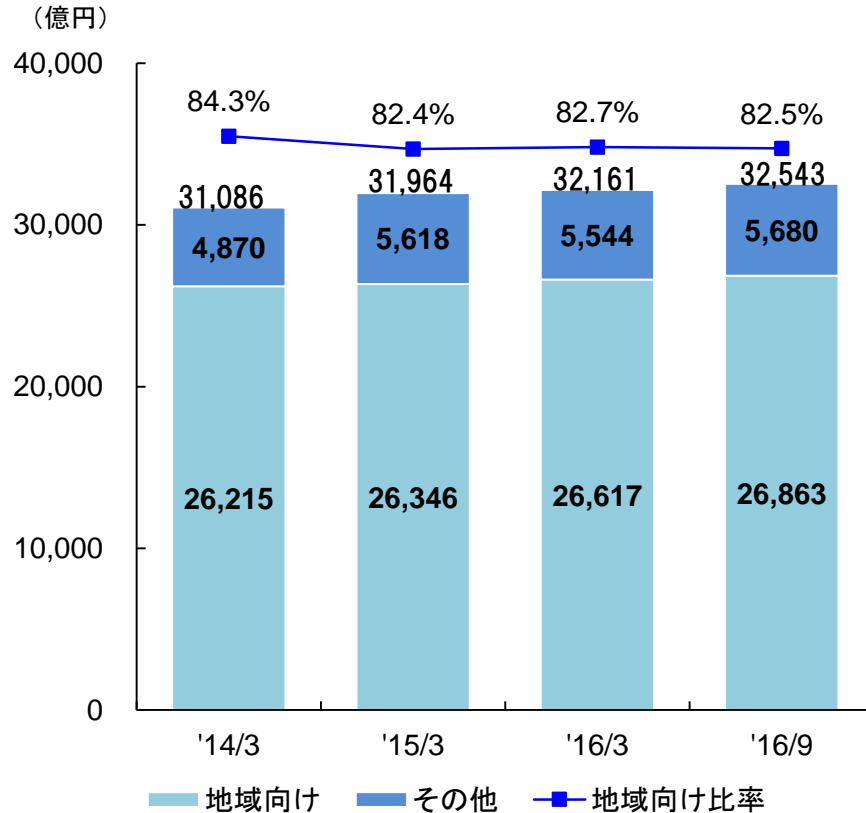
<参考: 中小企業向け貸出先数>

	'14/3	'15/3	'16/3	'16/9
中小企業向け貸出先数	33,162	32,617	31,080	30,127
うち地域向け	28,377	27,724	26,225	25,260

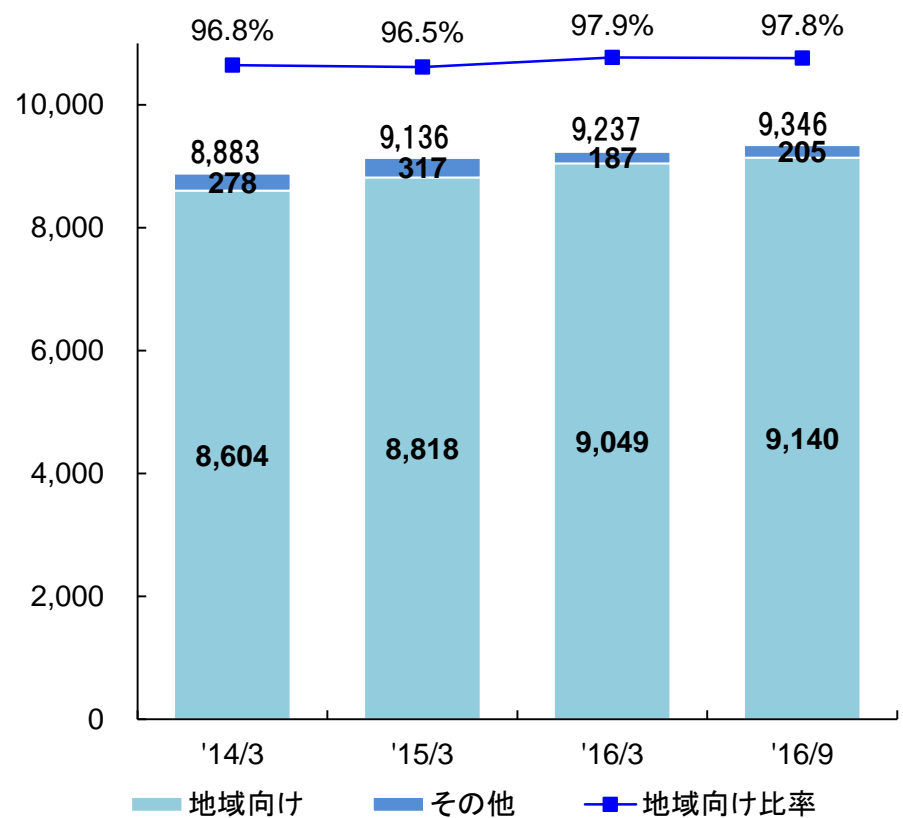
- 総貸出金のうち、地域向けは69.8%
- 中小企業向け貸出金のうち、地域向けは69.6%

※「地域」とは、富山、石川、福井、北海道

地域向けの貸出金の推移



中小企業向け貸出金の推移



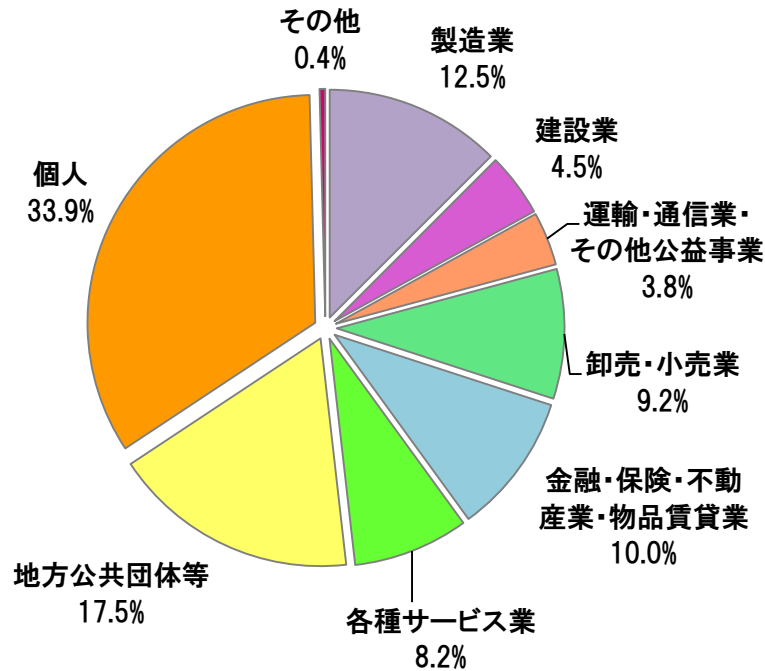
<参考: 中小企業向け貸出先数>

	'14/3	'15/3	'16/3	'16/9
中小企業向け貸出先数	11,973	12,157	12,196	11,891
うち地域向け	11,915	12,101	12,145	11,835

■総貸出金のうち、地域向けは82.5%
■中小企業向け貸出金のうち、地域向けは97.8%

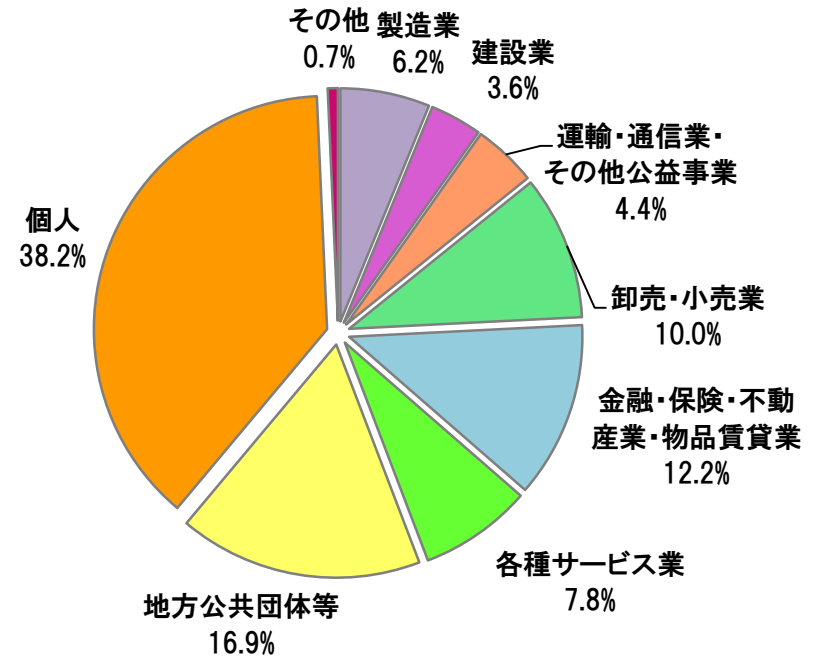
※「地域」とは、北海道

北陸銀行



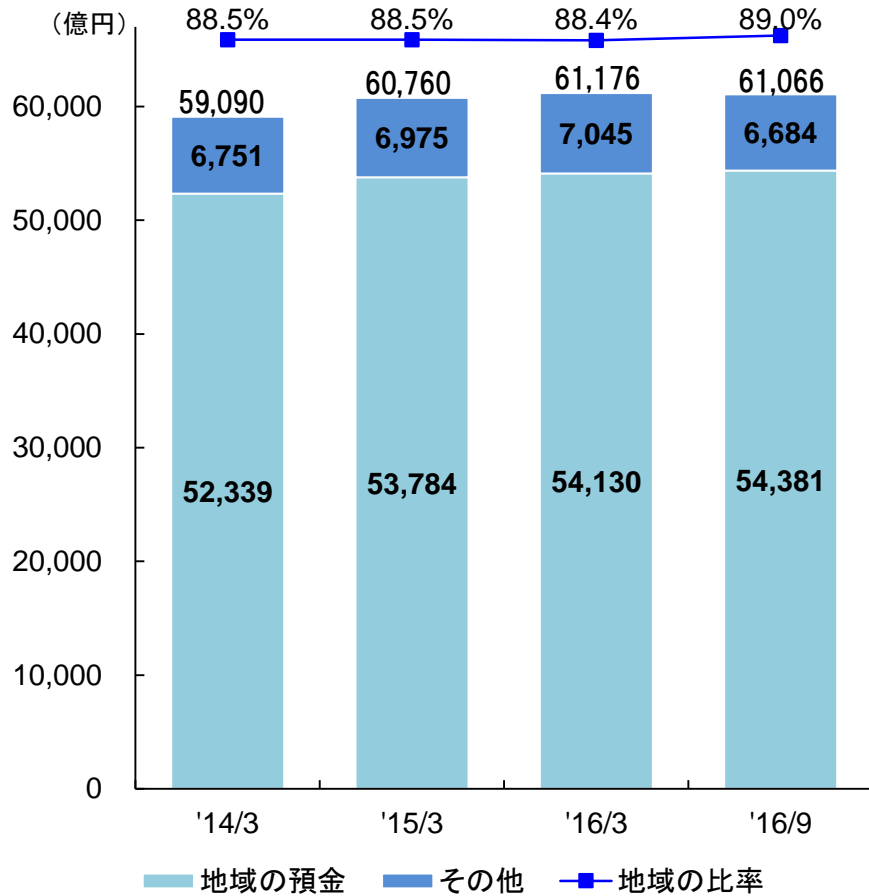
※「地域」とは、富山、石川、福井、北海道

北海道銀行



※「地域」とは、北海道

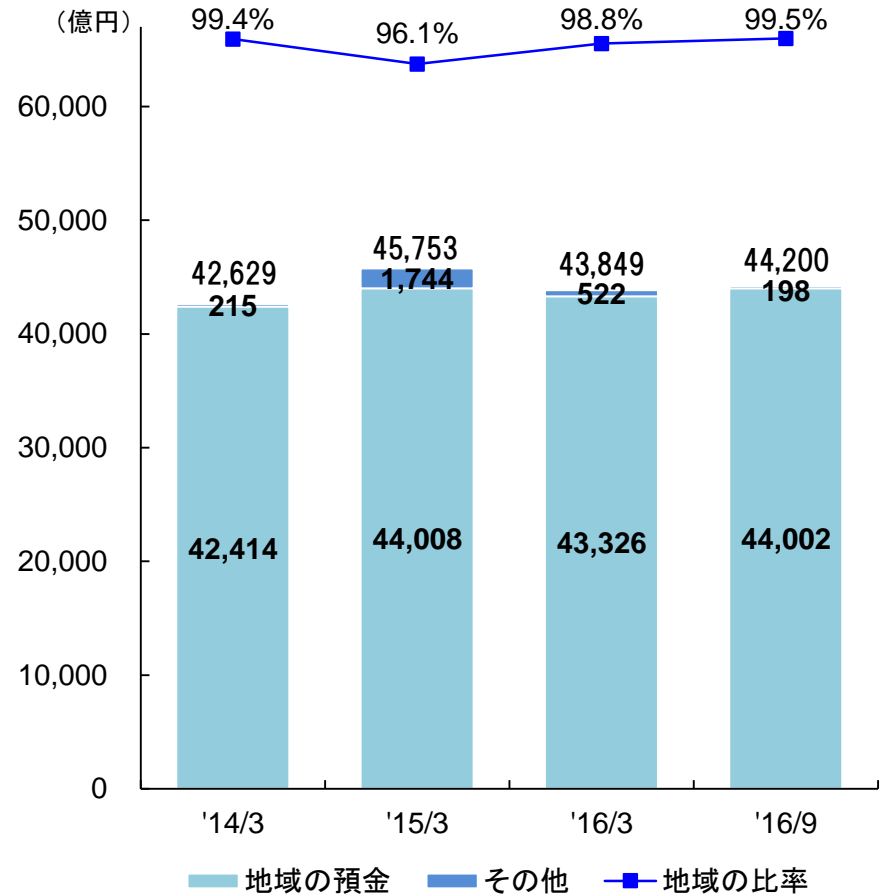
北陸銀行



※「地域」とは、富山、石川、福井、北海道

■北陸銀行: 地域の預金は総預金の89.0%

北海道銀行



※「地域」とは、北海道

■北海道銀行: 地域の預金は総預金の99.5%



引当・保全状況 (部分直接償却後)

自己査定における 債務者区分		開示債権 (A)	分類				担保・保証 (B)	(億円)			
			非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類		引当金 (C)	引当率 (D)	保全率 (E)	
破綻先 39 (44)		破産更生 債権及び これらに準 ずる債権 203 (228)	引当金・担保・ 保証等による 保全部分		全額引当	全額償却・ 引当	177 (198)	24 (29)	100.00% (100.00%)	100.00% (100.00%)	
実質破綻先 162 (183)					75 (90)	127 (137)					— (—)
破綻懸念先 1,209 (1,256)		危険債権 1,209 (1,257)	707 (731)	378 (397)	123 (127)	— (—)	746 (784)	339 (344)	73.34% (72.89%)	89.79% (89.81%)	
要注意先 5,143 (5,275)	要管理先 237 (238)	要管理 債権 194 (201)	要管理先 23 (23)	要管理先 214 (214)	要管理先 以外 0 (0)		要管理 債権 146 (155)	要管理 債権 7 (7)	要管理 債権 14.92% (15.89%)	要管理 債権 78.86% (80.88%)	
	要管理先 以外 4,906 (5,037)	正常債権 77,604 (76,397)	要管理先 以外 1,401 (1,611)	要管理先 以外 3,503 (3,425)			72,654 (71,322)	(要管理先) 172 (181)	(要管理先) 9 (8)	(要管理先) 14.95% (15.81%)	(要管理先) 76.74% (79.99%)
	正常先 72,654 (71,322)		要管理先 以外 2,949 (3,140)	要管理先 以外 46 (57)			3.00%				
合計 79,210 (78,083)		合計 79,210 (78,083)	非分類 74,862 (73,780)	Ⅱ分類 4,223 (4,174)	Ⅲ分類 123 (128)	Ⅳ分類 — (—)					

要管理債権以下
89.76%
(90.13%)

部分直接償却後

要管理債権以下
92.30%
(92.76%)

部分直接償却前

※ 16/9月末実績。()内は16/3月末の実績。

※ 引当率(D) = 引当金(C) ÷ { 債権額(A) - 担保・保証(B) } × 100

※ 保全率(E) = { 引当金(C) + 担保・保証(B) } ÷ 債権額(A) × 100

引当・保全状況 (部分直接償却後)

自己査定における 債務者区分		開示債権 (A)	分類				担保・保証 (B)	(億円)			
			非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類		引当金 (C)	引当率 (D)	保全率 (E)	
破綻先 26 (30)		破産更生 債権及び これらに準 ずる債権	引当金・担保・ 保証等による 保全部分		全額引当	全額償却・ 引当	128 (143)	16 (19)	100.00% (100.00%)	100.00% (100.00%)	
実質破綻先 118 (132)					56 (67)	88 (95)					— (—)
破綻懸念先 659 (703)		危険債権 659 (703)	391 (421)	208 (216)	59 (64)	— (—)	484 (510)	115 (128)	66.11% (66.35%)	90.99% (90.76%)	
要 注 意 先 3,267 (3,280)	要管理先 145 (143)	要管理 債権 108 (111)	要管理先 18 (20)	要管理先 126 (123)			要管理 債権 61 (67) (要管理先)	要管理 債権 6 (6) (要管理先)	要管理 債権 14.87% (16.20%) (要管理先)	要管理 債権 63.03% (67.37%) (要管理先)	
	要管理先 以外 3,122 (3,136)	正常債権 44,290 (43,622)	要管理先 以外 1,009 (1,180)	要管理先 以外 2,112 (1,955)			83 (91)	9 (8)	14.87% (16.19%)	63.70% (69.30%)	
	正常先 41,130 (40,452)		41,130 (40,452)	要管理先 以外 2,076 (2,172)			19 (18)	1.84% (1.94%)			
合計 45,202 (44,598)		合計 45,203 (44,599)	非分類 42,607 (42,142)	Ⅱ分類 2,535 (2,391)	Ⅲ分類 59 (64)	Ⅳ分類 — (—)					

要管理債権以下
89.10%
(89.65%)

部分直接償却後

要管理債権以下
92.37%
(92.81%)

部分直接償却前

※ 16/9月末実績。()内は16/3月末の実績。

※ 引当率(D) = 引当金(C) ÷ { 債権額(A) - 担保・保証(B) } × 100

※ 保全率(E) = { 引当金(C) + 担保・保証(B) } ÷ 債権額(A) × 100

引当・保全状況 (部分直接償却後)

自己査定における 債務者区分		開示債権 (A)	分類				担保・保証 (B)	(億円)			
			非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類		引当金 (C)	引当率 (D)	保全率 (E)	
破綻先 13 (14)		破産更生 債権及び これらに準 ずる債権	引当金・担保・ 保証等による 保全部分		全額引当	全額償却・ 引当	49 (55)	8 (9)	100.00% (100.00%)	100.00% (100.00%)	
実質破綻先 44 (50)					19 (23)	38 (42)					— (—)
破綻懸念先 549 (553)		危険債権 550 (554)	315 (310)	170 (180)	63 (63)	— (—)	261 (274)	223 (216)	77.75% (77.42%)	88.35% (88.61%)	
要注意先 1,876 (1,995)	要管理先 92 (94)	要管理 債権 86 (90)	要管理先 5 (3)	要管理先 87 (90)	要管理先 以外		要管理 債権 84 (87)	要管理 債権 0 (0)	要管理 債権 16.56% (10.74%)	要管理 債権 98.77% (97.40%)	
	要管理先 以外 1,783 (1,900)	正常債権 33,314 (32,775)	要管理先 以外 391 (430)	要管理先 以外 1,391 (1,469)			要管理先 以外 0 (0)	(要管理先)	(要管理先)	(要管理先)	(要管理先)
正常先 31,523 (30,870)			31,523 (30,870)			89 (90)	0 (0)	16.56% (10.74%)	97.20% (96.26%)		
						要管理先 以外 873 (967)	要管理先 以外 27 (38)	3.01% (4.10%)			
合計 34,007 (33,484)		合計 34,008 (33,484)	非分類 32,255 (31,638)	Ⅱ分類 1,687 (1,782)	Ⅲ分類 64 (63)	Ⅳ分類 — (—)					

要管理債権以下
90.62%
(90.78%)

部分直接償却後

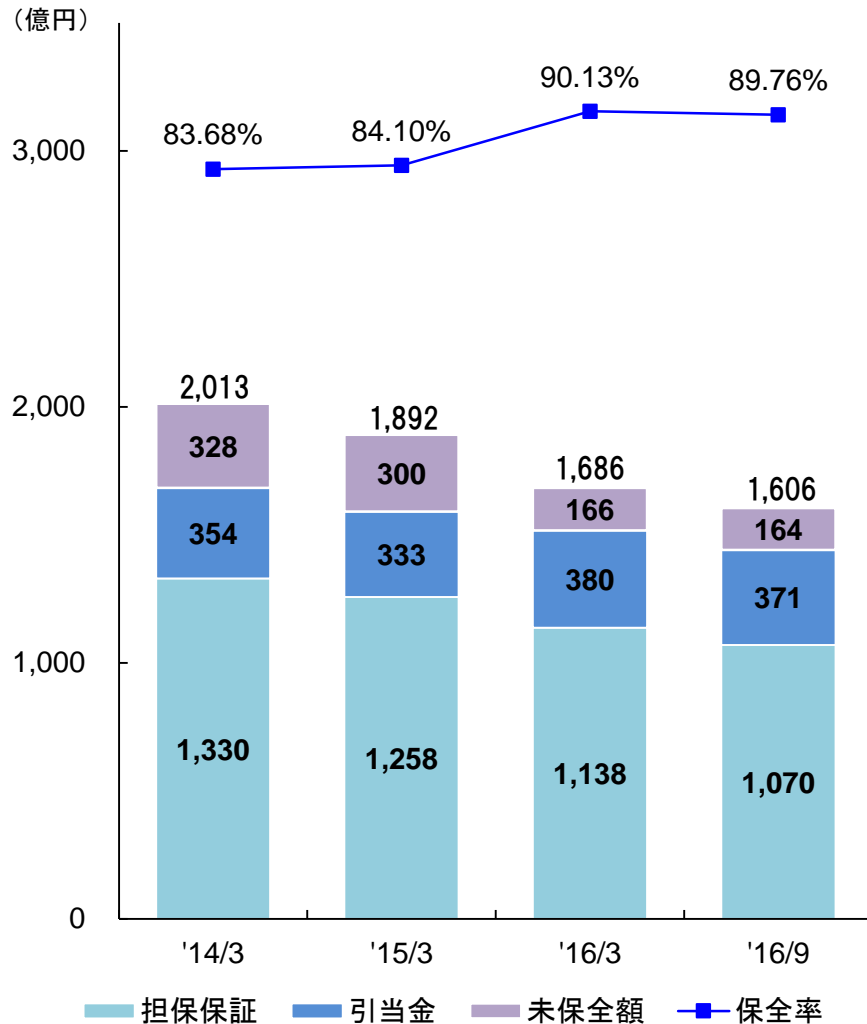
要管理債権以下
92.19%
(92.69%)

部分直接償却前

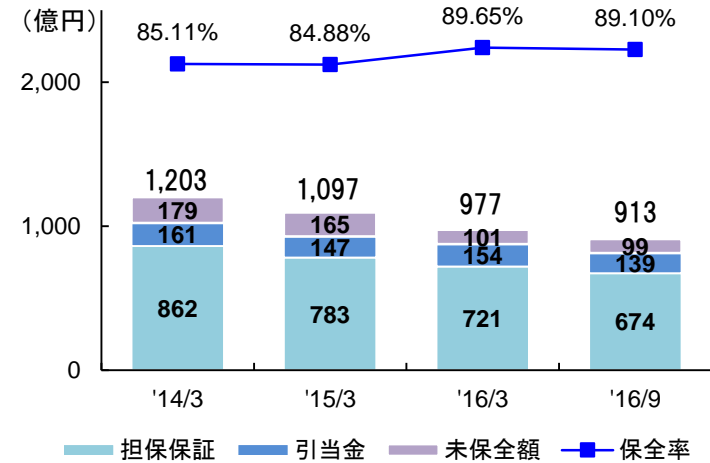
※ 16/9月末実績。()内は16/3月末の実績。
 ※ 引当率(D) = 引当金(C) ÷ [債権額(A) - 担保・保証(B)] × 100
 ※ 保全率(E) = [引当金(C) + 担保・保証(B)] ÷ 債権額(A) × 100

(部分直接償却後)

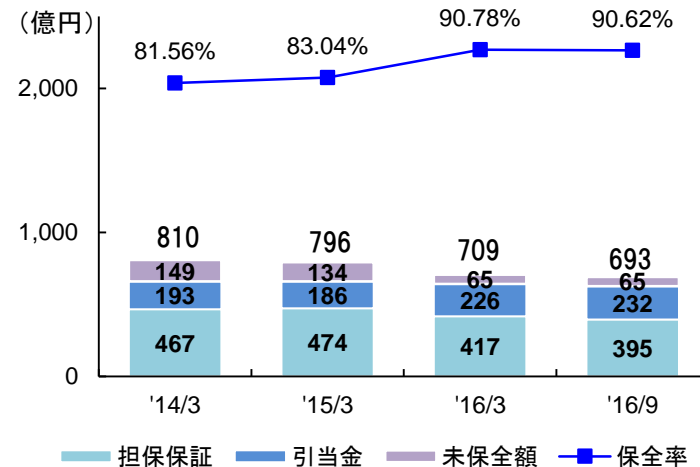
2行合算



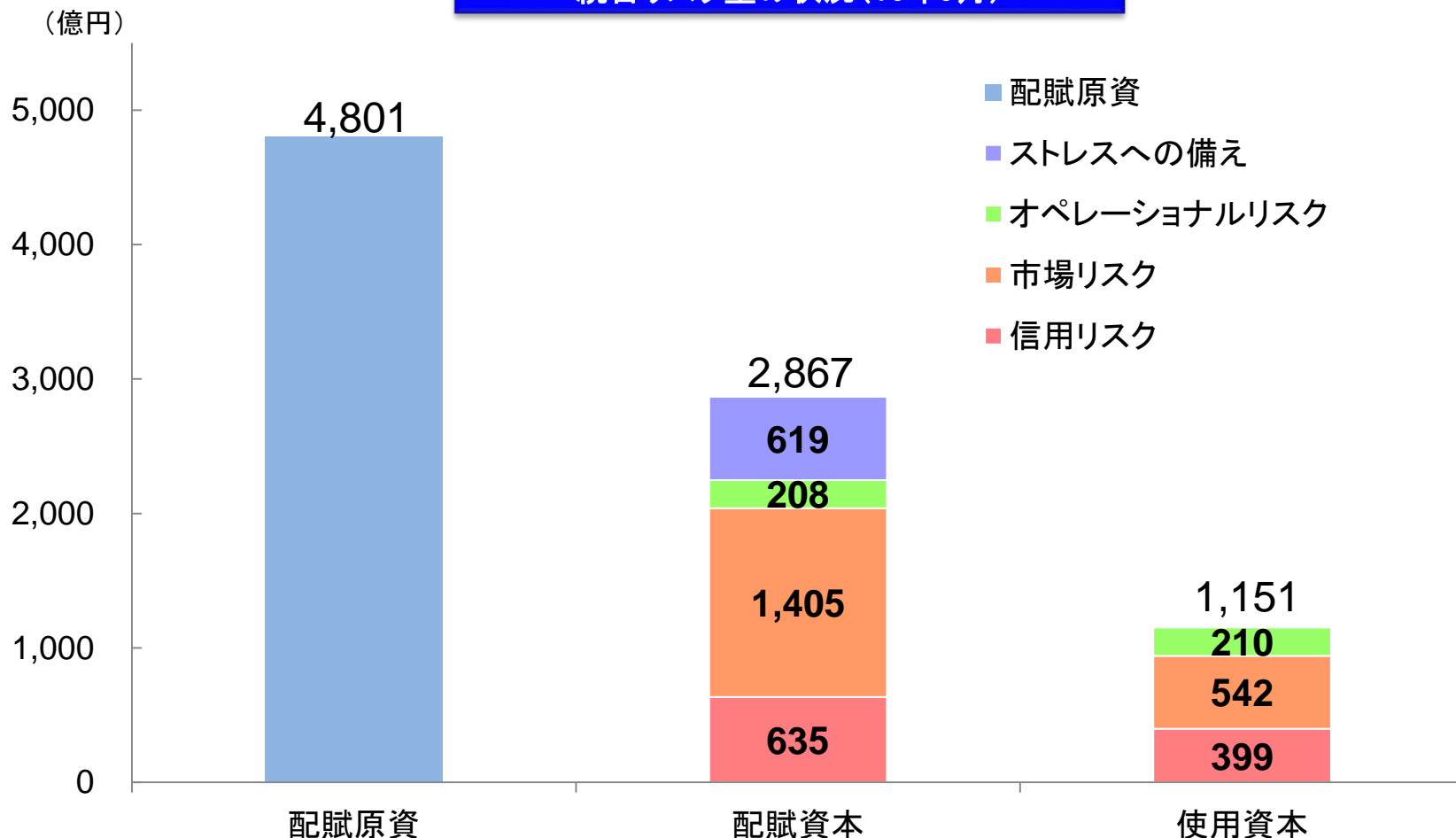
北陸銀行



北海道銀行



統合リスク量の状況(16年9月)



(注1) 配賦原資: コア資本-経過措置による算入額(優先株を除く)-コア資本に係る調整項目(完全実施時)-有価証券の評価差額金

(注2) 配賦資本: 事業計画遂行にともない、将来発生する最大損失額をリスク量として計量し、そのリスク量をカバーするために必要とする資本

(注3) 使用資本: 計量時点のリスク量をカバーするために必要とする資本

(2016年10月)

月例経済報告(内閣府)

地域経済報告(日本銀行)

全国

北陸

北海道

景気

緩やかな回復基調が続いている

回復を続けている

緩やかに回復している

公共投資

底堅い動きとなっている

増加している

緩やかに増加している

設備投資

持ち直しの動きに
足踏みがみられる

着実に増加している

高水準で推移している

個人消費

総じてみれば底堅い動き

持ち直している

回復している

住宅建設

横ばいとなっている

増加している

緩やかに持ち直している

生産

持ち直しの動きがみられる

横ばい圏内、
高水準を保っている

緩やかに増加している

雇用

改善している

着実に改善している

着実に改善している

消費者物価

横ばいとなっている

小幅のマイナスで推移

前年を下回った

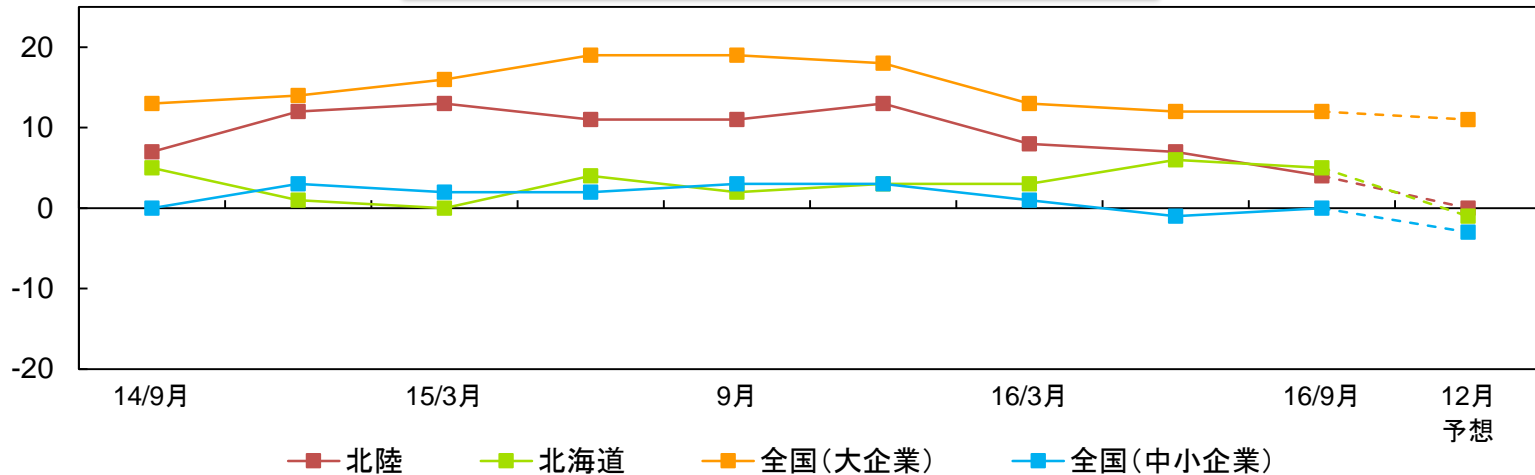
企業倒産

おおむね横ばいとなっている

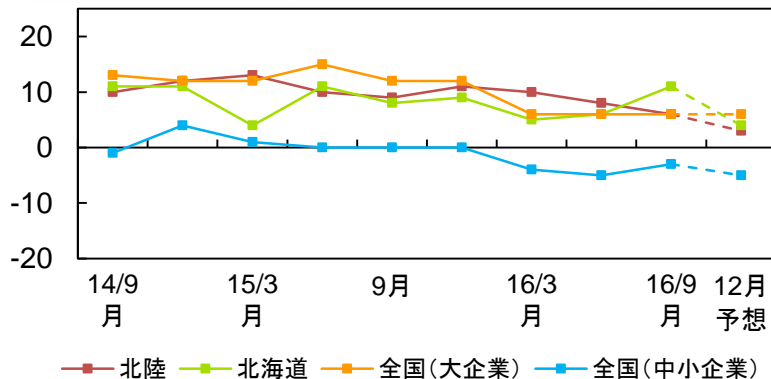
落ち着いた動き

落ち着いた動き

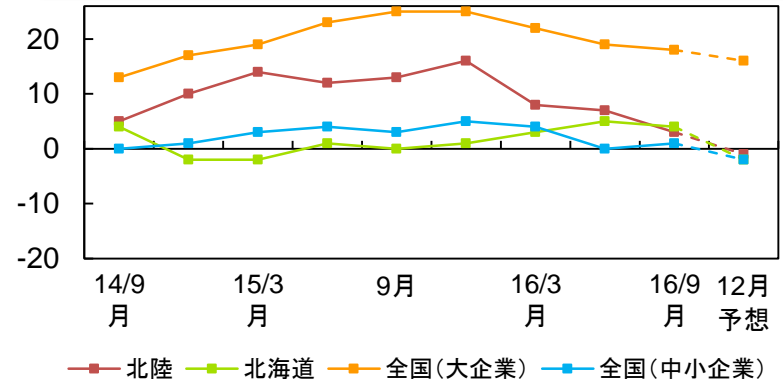
全産業:D.I.地域別推移 (ポイント)



製造業:D.I.地域別推移 (ポイント)

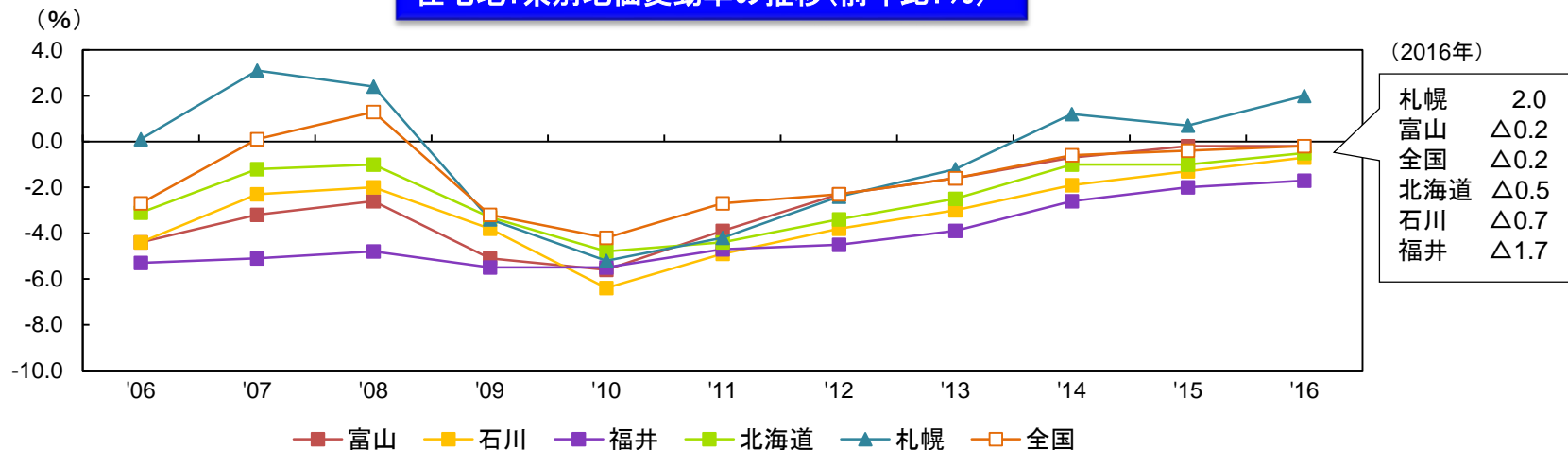


非製造業:D.I.地域別推移 (ポイント)

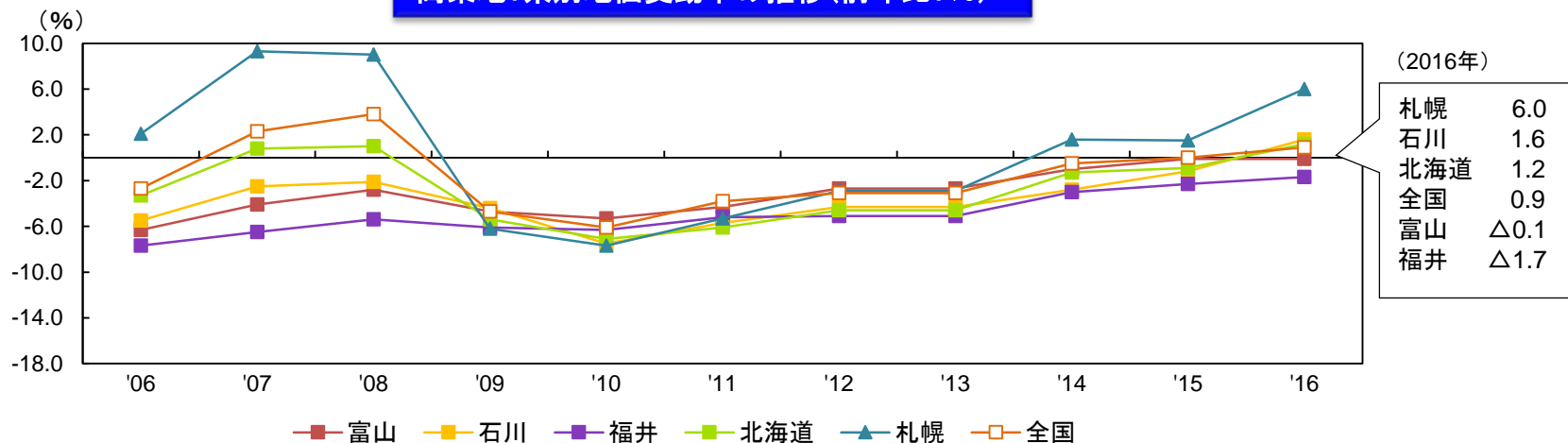


- 北陸 : 全産業で3四半期連続で悪化。先行きも悪化見通し。
- 北海道 : 製造業は公共工事の増加で上昇したが、全産業では1年ぶりの悪化。先行きは悪化見通し。

住宅地：県別地価変動率の推移（前年比：％）

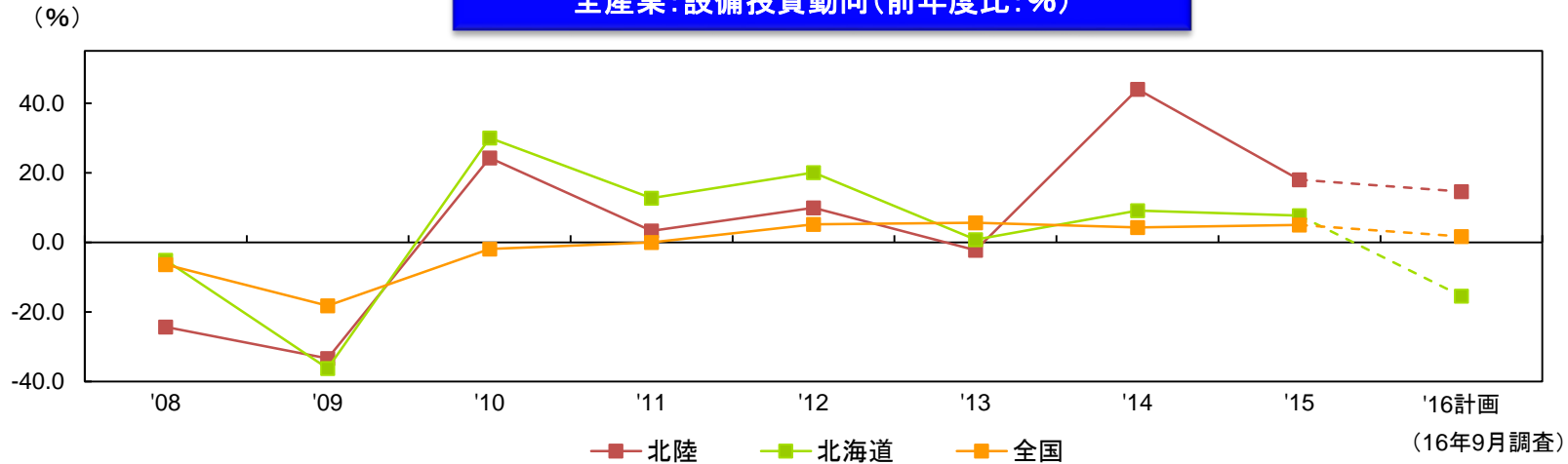


商業地：県別地価変動率の推移（前年比：％）

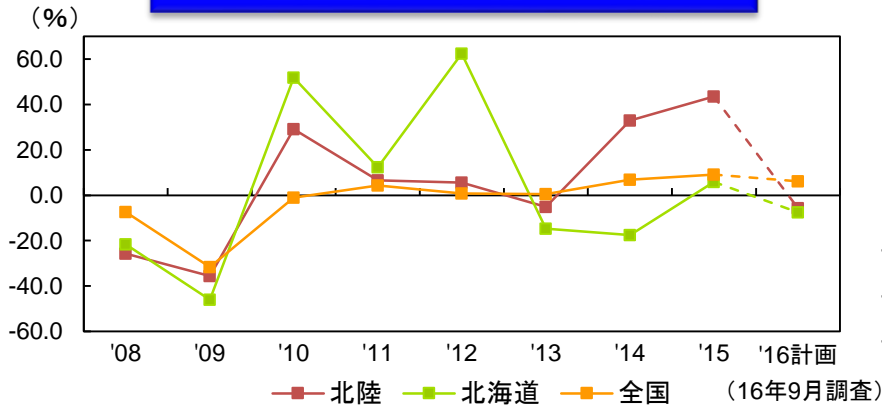


➤北陸：上昇地点が前年比3割増加。北陸新幹線効果で駅近くを中心に上昇がみられ、駅から離れた地点にも波及した。
➤北海道：札幌を中心に上昇し、25年ぶりに下げ止まった。一方で、過疎化の進む地方では下落傾向が続いている。

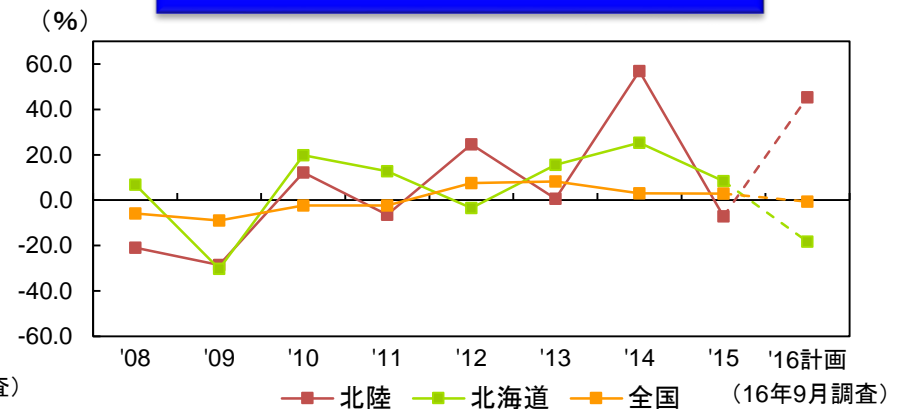
全産業：設備投資動向（前年度比：％）



製造業：設備投資動向（前年度比：％）

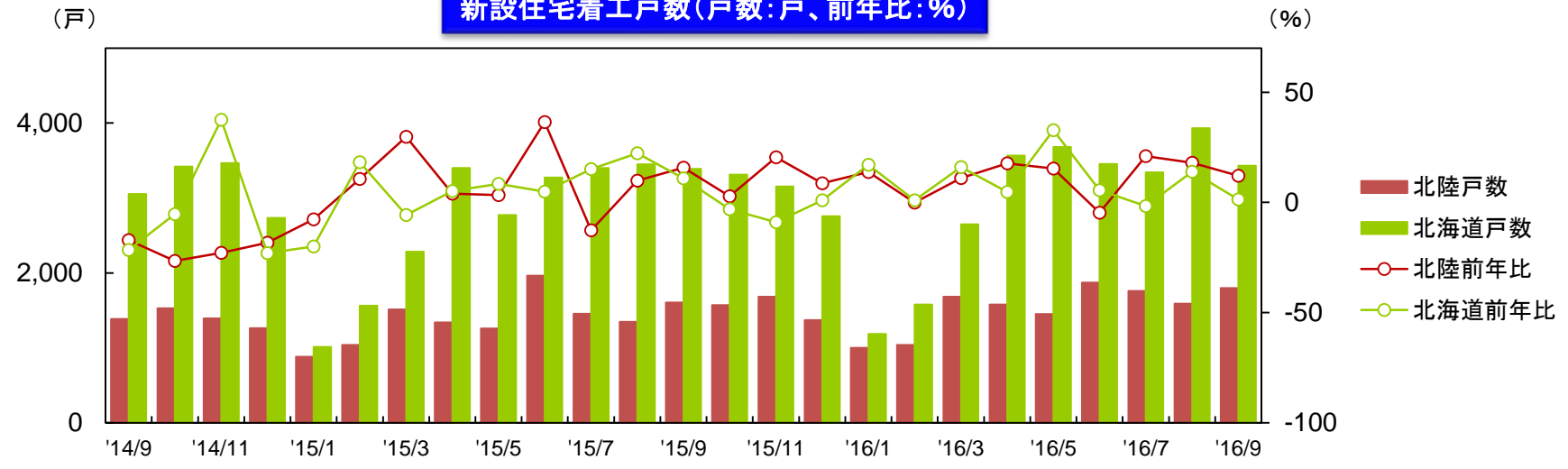


非製造業：設備投資動向（前年度比：％）

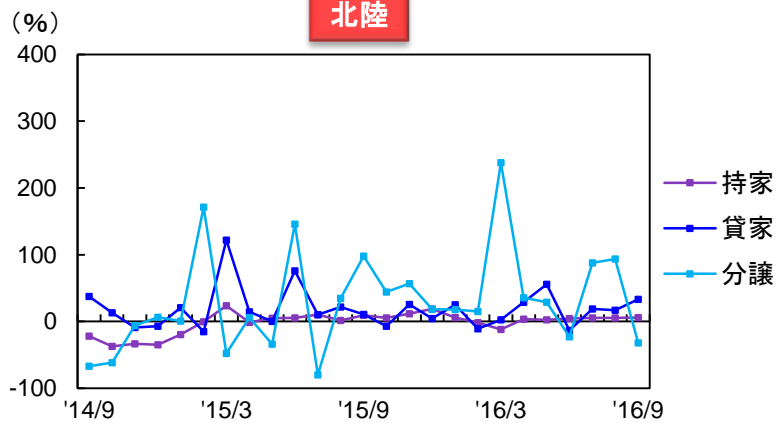


- 北陸 : 需要好調業種の能力増強投資を中心に、着実に増加している。
- 北海道 : 高水準で推移しているが、大型投資の反動から前年を下回る計画となっている。

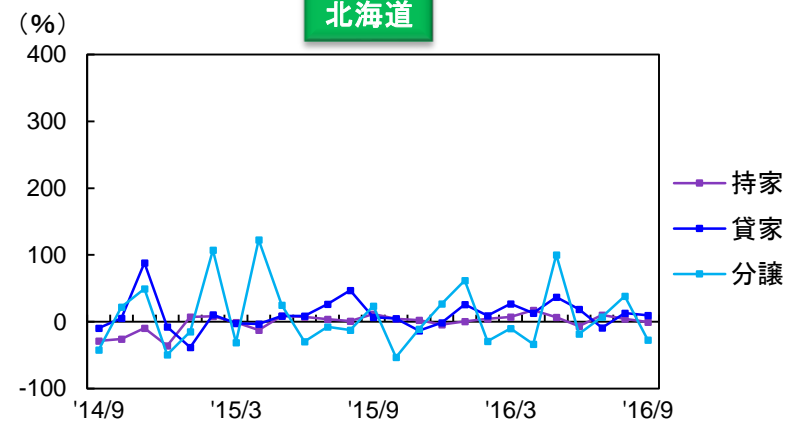
新設住宅着工戸数(戸数:戸、前年比:%)



北陸

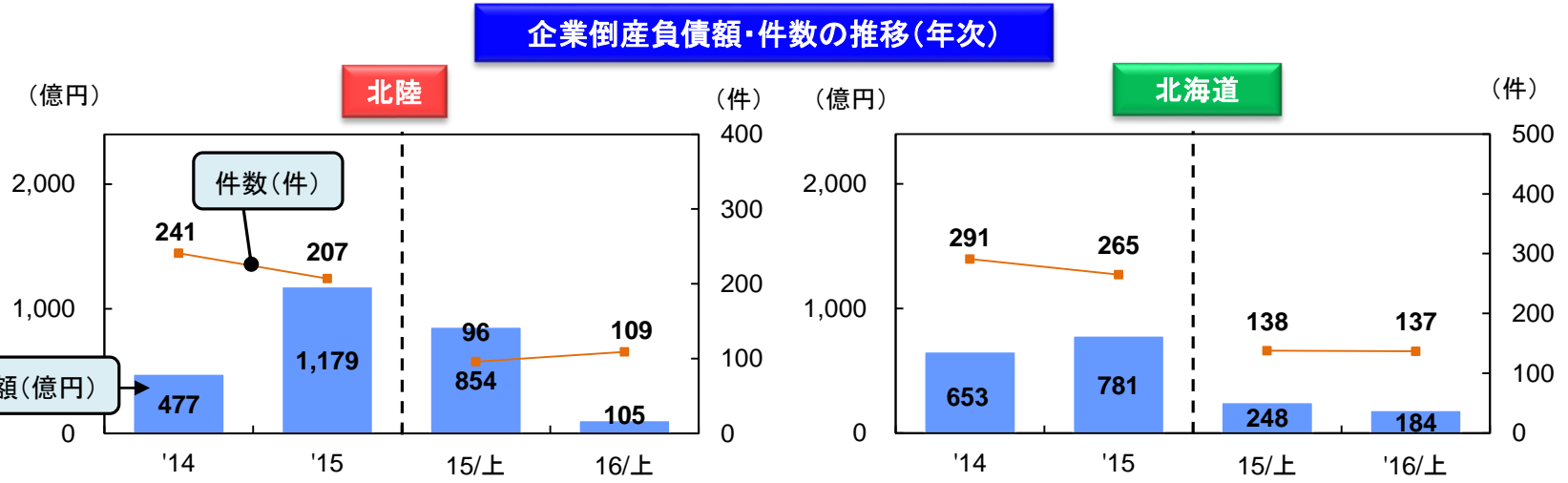
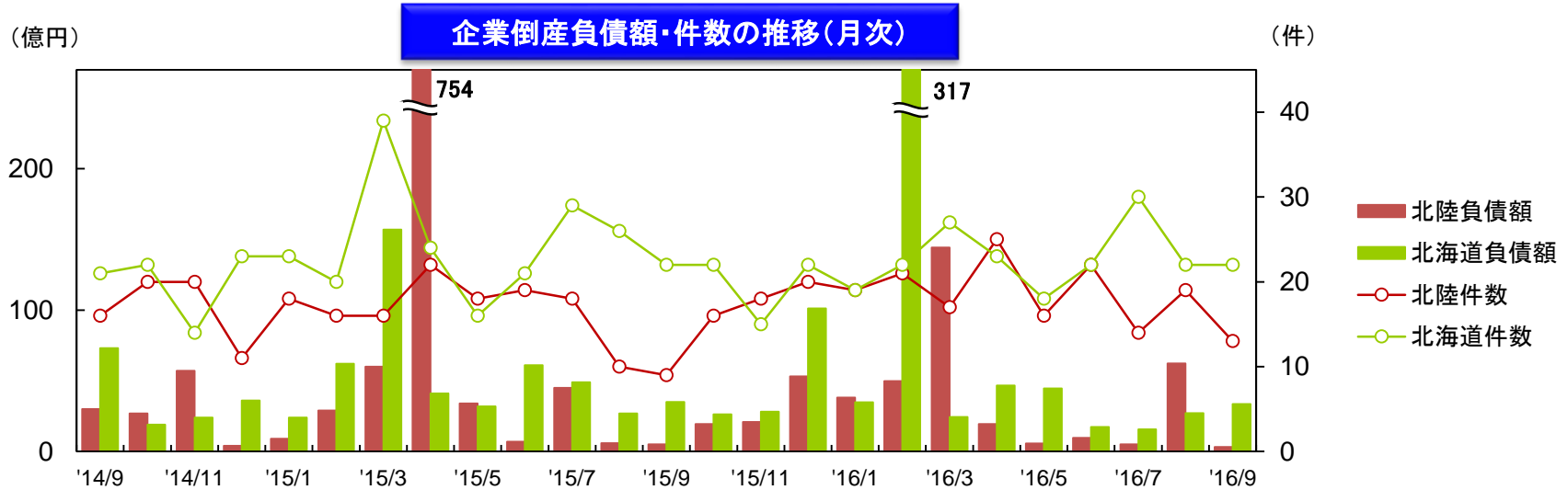


北海道



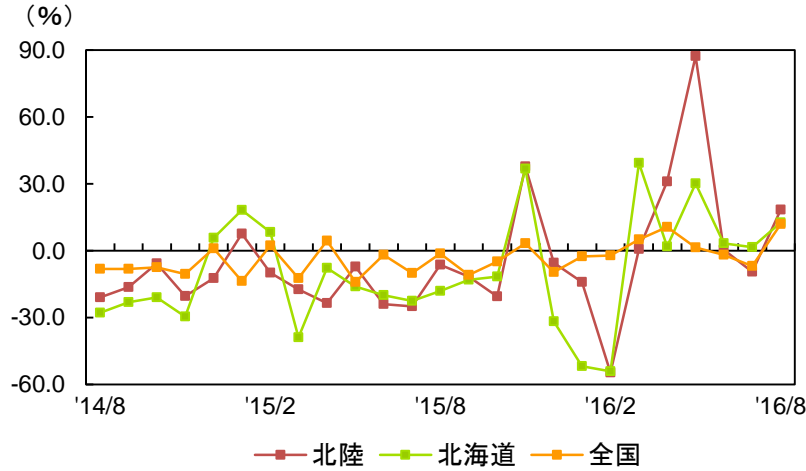
▶ 北陸 : 16年度上期は、持家、貸家、分譲のいずれにおいても前年同期比増加した。
 ▶ 北海道 : 16年度上期は、持家、貸家、分譲のいずれにおいても前年同期比増加した。

※ 国土交通省「建築着工統計調査」より

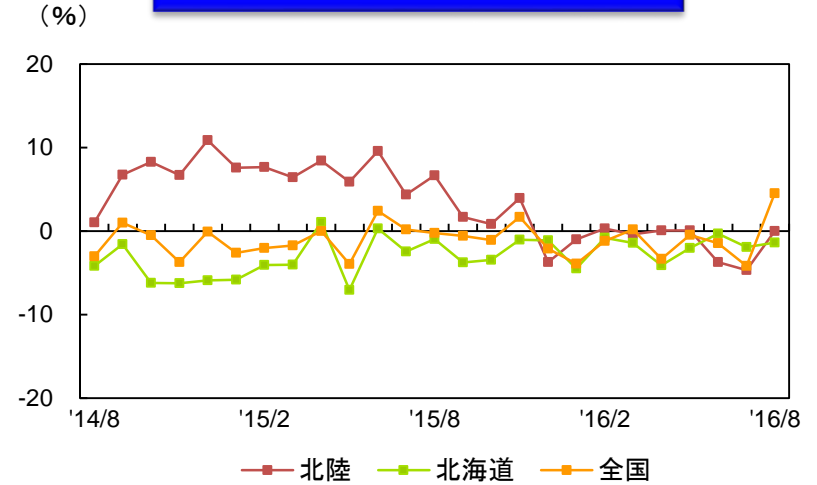


> 北陸 : 16年度上期は、件数は前年同期比増加したが、負債額は大型倒産がなかったため前年同期比減少した。
 > 北海道 : 16年度上期は、件数、負債額ともに前年同期比減少した。

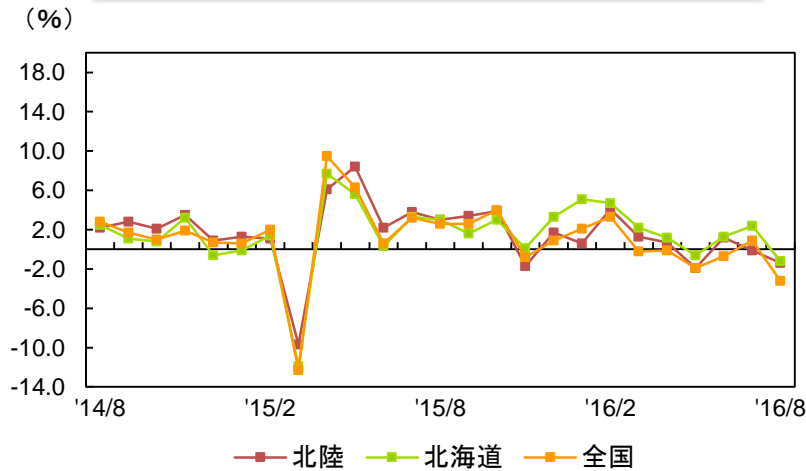
公共工事請負額(前年比:%)



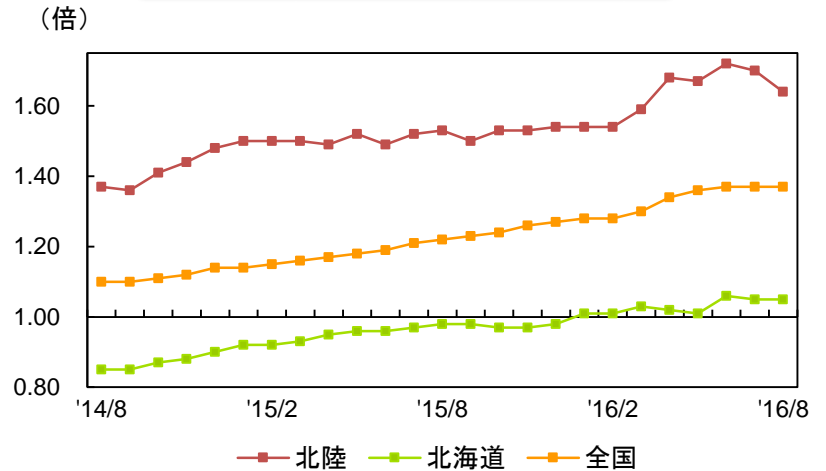
鉱工業生産指数(前年比:%)



大型小売店売上高(全店ベース)(前年比:%)



有効求人倍率(倍)



※ 日本銀行「金融経済月報(北陸)」「金融経済概況(北海道)」、経済産業省「北陸地域の鉱工業生産指数」、「北海道鉱工業生産動向」、厚生労働省「一般職業紹介状況」より

人口・面積

総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2016」(2014年度実績)

	富山	石川	福井	北陸 三県計	北海道	プライム エリア
人口 (順位)	107万人 (37位)	116万人 (34位)	79万人 (43位)	302万人	540万人 (8位)	842万人
面積(km ²) (順位)	4,248 (33位)	4,186 (35位)	4,190 (34位)	—	83,424 (1位)	—

事業所数

(千)

北海道	242
北陸	161
富山	54
石川	63
福井	43

総務省統計局「平成26年経済センサス-基礎調査(確報)」

県内総生産

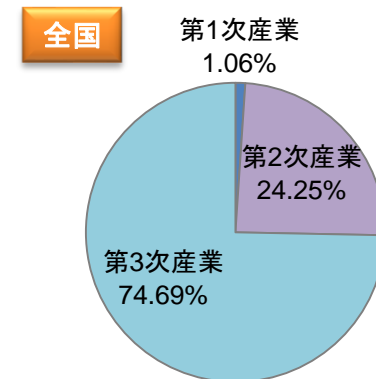
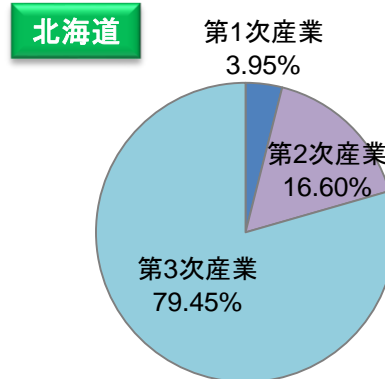
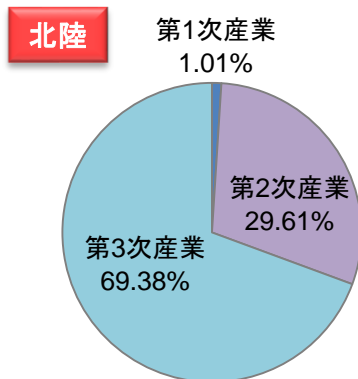
内閣府「平成25年度県民経済計算」

(億円)

	富山	石川	福井	北陸 三県	北海道	プライム エリア
県内総生産 (割合) (順位)	43,565 (0.86%) (32位)	45,448 (0.89%) (28位)	31,270 (0.61%) (42位)	120,285 (2.36%)	182,687 (3.59%) (8位)	302,973 (5.96%)

産業別構成

内閣府「平成25年度県民経済計算」



観光

平成27年3月に北陸新幹線、平成28年3月に北海道新幹線が開業！

北陸

- 平成27年3月に開業した北陸新幹の効果等により、平成27年の延べ宿泊者数は、3県とも増加しました。

延べ宿泊者数

富山県：399万人（前年比+14.3%）
石川県：872万人（前年比+15.7%）
福井県：416万人（前年比+9.8%）

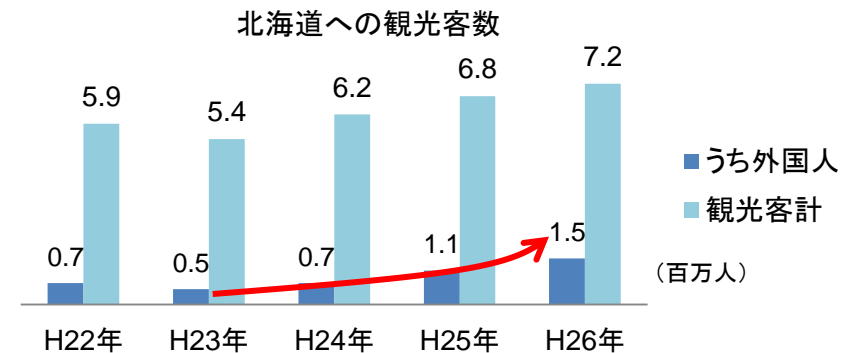
北陸新幹線開業後の延べ宿泊者数の伸び率は全国で富山県が第4位、石川県が第5位となりました。

<各県の主な観光地・イベント>

富山	石川	福井
立山黒部・アルペンルート	兼六園	東尋坊
黒部峡谷	山代温泉	一乗谷朝倉氏遺跡
おわら風の盆	21世紀美術館	恐竜博物館

北海道

- 平成28年3月に北海道新幹線が開業。函館では、観光施設の利用客が増加している。特に、関東・東北方面からの旅行客が増加している。また、函館空港の利用客は減少していないため、新幹線利用客が純増しているとみられる。（開業から半年間の乗客数は前年同期比77%増）
- 国際定期便の新規就航や増便、査証要件の緩和、円安基調の継続、各種プロモーションによる需要喚起などの効果もあり外国人観光客は増加している。

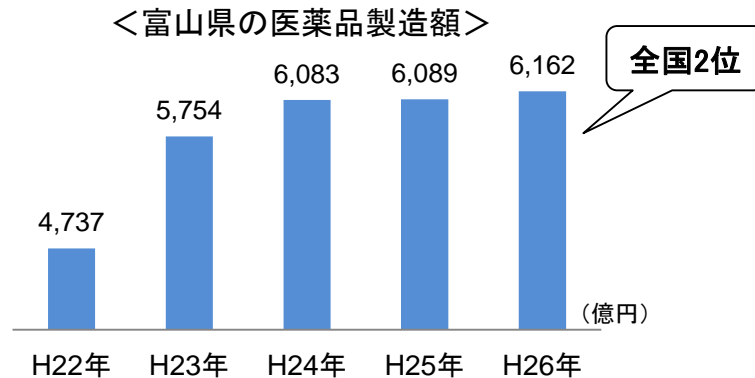


ものづくり

北陸では、全国に比べ第2次産業のウエイトが高い。

富山

- ・化学工業の中でも医薬品の占める割合が多い。全国有数の薬産地として、医薬品の地場中堅企業や大手メーカーの工場が多数立地している。
- ・また、大手アルミ建材メーカーや関連下請企業が多数集積しており、アルミニウム製サッシの出荷額は全国1位。



福井

- ・石川県と同じく古くから繊維産地であり、合成繊維のテキスタイル産地を形成しているほか、スマートフォン向け電子部品など電子部品・デバイスのウエイトが高い。
- ・また、眼鏡枠産地としても知られている。近年は海外からの低価格品流入などに対する取り組みを行っている。

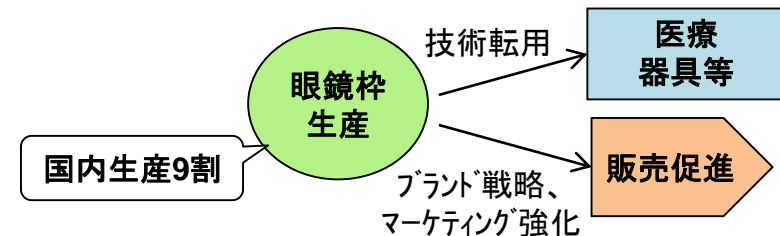
石川

- ・古くから繊維産業が有名であり、海外との競合や大手合繊メーカーの生産縮小などにより規模は縮小しているが全国有数の繊維産地である。特に、合成繊維織物は全国約3割のシェアを占めている。
- ・機械・金属分野を中心に、高い技術力により特定の分野でシェアトップのニッチトップ企業が数多くあり、経済産業省の「グローバルニッチトップ企業100選」でも6社が選出。

＜「グローバルニッチトップ企業100選」選出企業数＞

1位	東京都(24社)
2位	大阪府(18社)
3位	愛知県(8社)
4位	石川県(6社)

＜福井の眼鏡枠生産企業の取り組み＞



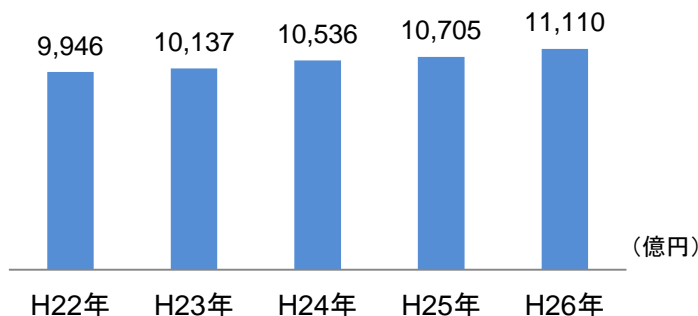
農業・水産業

北海道では、全国に比べ第1次産業のウエイトが高い。

農業

- ・北海道は耕地面積が全国の4分の1、農業産出額は13.2%を占め、国産供給熱量の約2割を供給する国内最大の食料生産地域

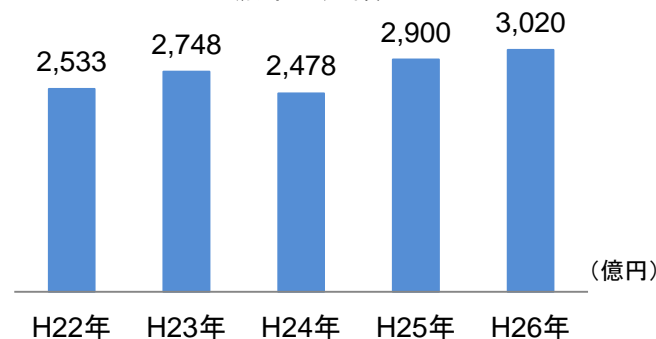
農業産出額



水産業

- ・北海道における海面漁業・養殖業の生産は量、額ともに全国1位となっている。また、水産加工業でも出荷額が全国の約2割と水産業が基幹産業となっている。

漁業生産額



- ・農林水産物の「原料生産⇒研究開発⇒製造加工⇒販売輸出」といったバリューチェーンを強化する取り組みを行っている。

＜食クラスター活動＞・・・産学官金のオール北海道体制で、食の付加価値向上や関連産業の振興に取り組み、「食の総合産業化」を目指す

＜道内農業生産関連事業体数＞

	農産物の加工	農産物直売所	観光農園	農家民宿	農家レストラン
平成24年度	1,170	1,240	450	300	170
平成25年度	1,220	1,320	480	320	170

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:大谷・宮崎)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:honsha1@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>